平成26年度土木学会全国大会
社会コミュニケーション委員会討論会

土木広報アクションプラン
～議論百出、土木という言葉のこれまでとこれから～

2014年9月10日

佐々木　正

社会コミュニケーション委員会　委員
一般財団法人国土技術研究センター 情報･企画部 首席研究員

土木広報アクションプランとは

24時間
年中無休

■私たちの普通の暮らしを支える社会資本

- 生活基盤　上下水道、公園、教育文化施設、福祉施設
- 交通基盤　道路、鉄道、港湾、空港
- 通信基盤　電話、コンピュータ通信
- エネルギー　石油、ガス、電力等の生産と供給
- 生産基盤　オフィス街、農林水産施設、工業団地
  流通施設
- 保全基盤　河川、砂防、海岸施設
- 迷惑施設　火葬場、清掃工場、廃棄物処分場

土木広報アクションプランとは

■問題意識

（1）社会資本整備・維持管理の原資は税金・利用料金
→国民・利用者・社会に説明責任
きちんと伝わっていないジレンマ

（2）公共投資の減少、社会資本整備への負のイメージ
→正しい認識をもってもらうための広報が必要

（3）東日本大震災から学んだこと
→土木関係者の活躍が伝わりにくい
→震災の教訓を次世代に伝える責務

土木広報アクションプランとは

■土木＝「公共の福祉」に携わる大事な仕事

■土木は工事だけではない

- 社会資本の計画、設計、工事、維持管理
- それらの体系的な技術
- 住みやすい国土づくりのための国土政策、理念

■産業界・学術界・官公庁
それぞれの得意分野を“自覚”して土木広報

土木広報アクションプランとは

戦略的な土木広報の不在
土木界をあげた広報を！

【国民・マスコミ・教育者・有識者】

【土木界（オール土木】

【産業界】

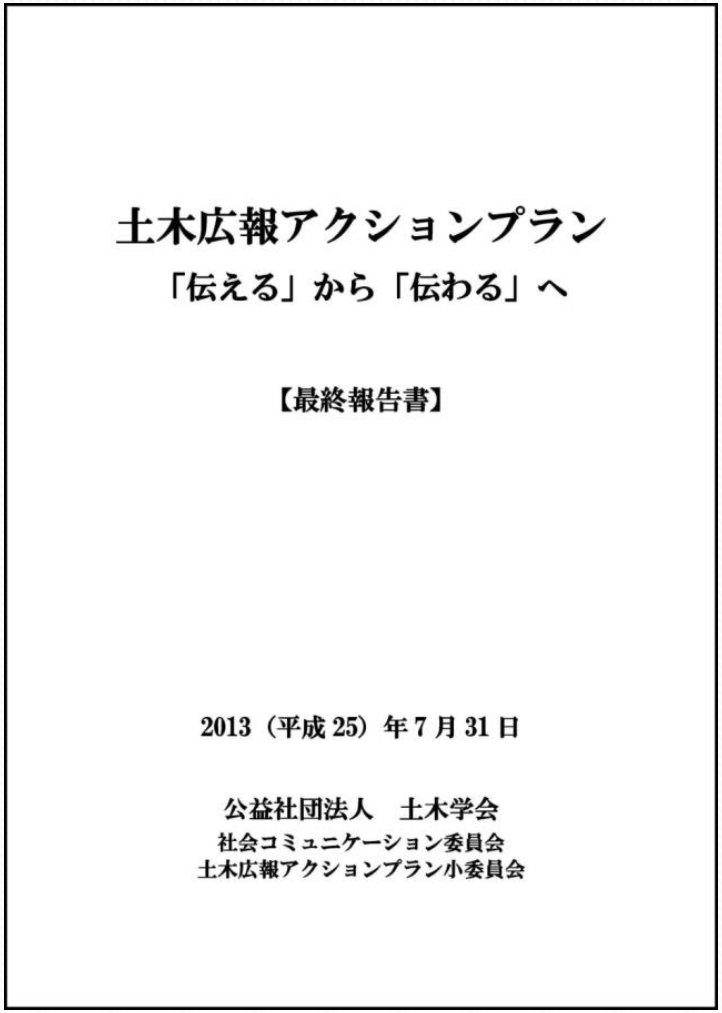
【官公庁】

【学術界】

土木広報アクションプランとは

■土木広報の参考書

…社会資本に対する理解増進を図る取り組みとして33項目のアクションプラン



土木広報アクションプラン

「伝える」から「伝わる」へ

【最終報告書】

2013（平成25）年7月31日

公益社団法人　土木学会
社会コミュニケーション委員会
土木広報アクションプラン小委員会

■最終報告書の目次

1　背　景
1.1　活動の背景
1.2　土木広報について
1.3　検討の経緯

2　土木広報の目標

3　土木広報アクションプランのフレームワーク
3.1　アクションプランの位置づけ
3.2　土木広報の心構え
3.3　継続的な取り組みのために
3.4　消費者行動モデルによる土木広報活動の分析
3.5　取り組むべき8つの分野

4　これまでの土木広報のレビュー
4.1　過去の土木広報の事例と反省
4.2　土木広報と教育
4.3　他業界の広報戦略から学ぶこと

5　土木広報アクションプランの戦略
5.1　広報を成功させる視点
5.2　ターゲットの分析と重点化
5.3　総力戦で取り組むことの必要性
5.4　情報を集約、一元的に扱う体制づくり
5.5　記録を残す必要性
5.6　広報の評価の必要性

6　具体のアクションプラン
6.1　具体のアクションプランの考え方
6.2　具体のアクションプラン

7　アクションプランを実施する上での配慮事項
7.1　記録の取り方
7.2　記録の残し方
7.3　記録を残して活用するための配慮事項
7.4　評価の方法

8　今後の展開

9　あとがき

土木学会ウェブページからダウンロード
http://committees.jsce.or.jp/publicity01/node/29

33項目のアクションプラン

	Ⅰ．重点対象者	Ⅱ．特定対象者	Ⅲ．一般対象者
A.当事者	A－Ⅰ．土木関係者 1) 土木関係者への広報研修の実施 2) 土木界内の広報に関する情報共有 3) 最高広報責任者の明示	A－Ⅱ．工学系高校生・大学生 4) 学生向けの特別授業やセミナー等	A－Ⅲ 土木ﾏﾆｱ・ﾌｧﾝ・ｼﾆｱ 5) 土木検定の実施 6) 体験ツアー等の実施
B.中間	B－Ⅰ．家族・主婦 7) 誤解や不正確な情報には正確な情報を提供する。 8) 一般の女性が関心のある内容で土木を広報 9) ファミリーデー（社員の家族による会社訪問日）の開催 10) “Facebook”“twitter”公式アカウントによる情報提供 11) 災害時広報体制の確立	B－Ⅱ．幼児・小学生・中学生・高校生 12) 学校の図書館に所蔵できる土木図書の作成 13）教育指導者向けの学習会の開催や教材開発 14）教育素材の提案、企画づくり 15) 土木技術者を講師とした土木教室の開催 16) 国語辞典における土木の意味と用例の提案、普及	B－Ⅲ．一般市民・利用者 17) 観光と一体となった現場見学ツアーの実施 18) 100万人の市民現場見学会の改善 19) 土木に興味のある著名人への土木イベント招待や執筆依頼 20) 道の駅やSA/PA、駅での情報発信 21) 生涯学習で地域の土木を素材化 22) 土木用語のWikipediaへの投稿 23) 電車のつり広告の掲載 24) 土木共通のシンボルマーク・シンボルロゴ・ゆるキャラの制定 25) 工事に携わった土木技術者の氏名を記した銘板の設置
C.第三者	C－Ⅰ．報道関係者・識者・作家 26) 記者との懇談会の実施 27) 記事にされやすい情報発信 28) 識者向けの情報発信	C－Ⅱ．地方報道関係者・利害関係者・住民 29) 地方報道記者との勉強会 30) 第三者による検証や再現が可能な説明資料の提供	C－Ⅲ．世論・輿論 31) 土木知識に関する対応窓口設置 32) テレビ情報番組の制作 33) 番組制作会社へのはたらきかけ

国語辞典における「土木」（一例）

辞典	土木の意味
広辞苑	土木工学、また、土木工事の略。 土木工学：工学の一部門。道路・河川・鉄道・橋梁・上下水道・発電水力・灯台・港湾・国土都市計画・環境計画・景観などの施設に関する歴史・理論および実際を研究する学問。 土木工事：道路・堤防・橋梁・港湾・鉄道・上下水道・河川など、すべて木材・鉄材・土石・コンクリートなどを使用する工事。
日本国語大辞典（小学館）	土、木材、金属、石などで家屋、橋梁などを建て築くこと。また、そのようにして建てた物。作事。普請。
岩波国語辞典	建物や橋を建てること。その建てたもの。法律では増改築や移築を含む。

造ることのみの記述で
調査・計画・設計・維持管理
等が含まれていない。

土木と建築が混在

土木広報アクションプラン小委員会
幹事会国語辞典WGの活動

●国語辞典での「土木」という言葉の説明は実態を正しく反映しているとは言い難い。

●一般市民に土木界のことを正しく認識してもらうためには、わかりやすい言葉で「土木」の意味を広く社会に語りかける。

●「土木」の定義そのものに関しては、国内や中国の歴史書を対象として初出の典籍を探るアプローチも試みられている。

●現代において妥当と判断される土木の意味を、分かりやすい言葉で説明を試みる。

■土木学会「公益社団法人への移行にあたって」

（土木と土木技術者の定義）

「土木」とは、「人々が暮らし、様々な活動を行う様々な条件や自然環境、人間環境を整えることを通して、我々の社会を飢餓と貧困に苦しむことなく安心して暮らせる社会へと改善していく総合的な営み」を意味するものであるといえよう。

とりわけわが国は、厳しい自然条件と平地における人口稠密な国土に、高度の文化的な生活と経済とを展開するため、国土と時に対峙し、時に巧みに協調する必要がある。

そして「土木」は、土木技術の開発に努力を傾注しその力を劇的に増大させて、全国各地に防災施設、港湾、鉄道、道路などの交通運輸施設、発電・エネルギー施設、上下水道といった社会基盤・システムを築き、都市や農村などの人間環境と自然の環境を改変してきた。

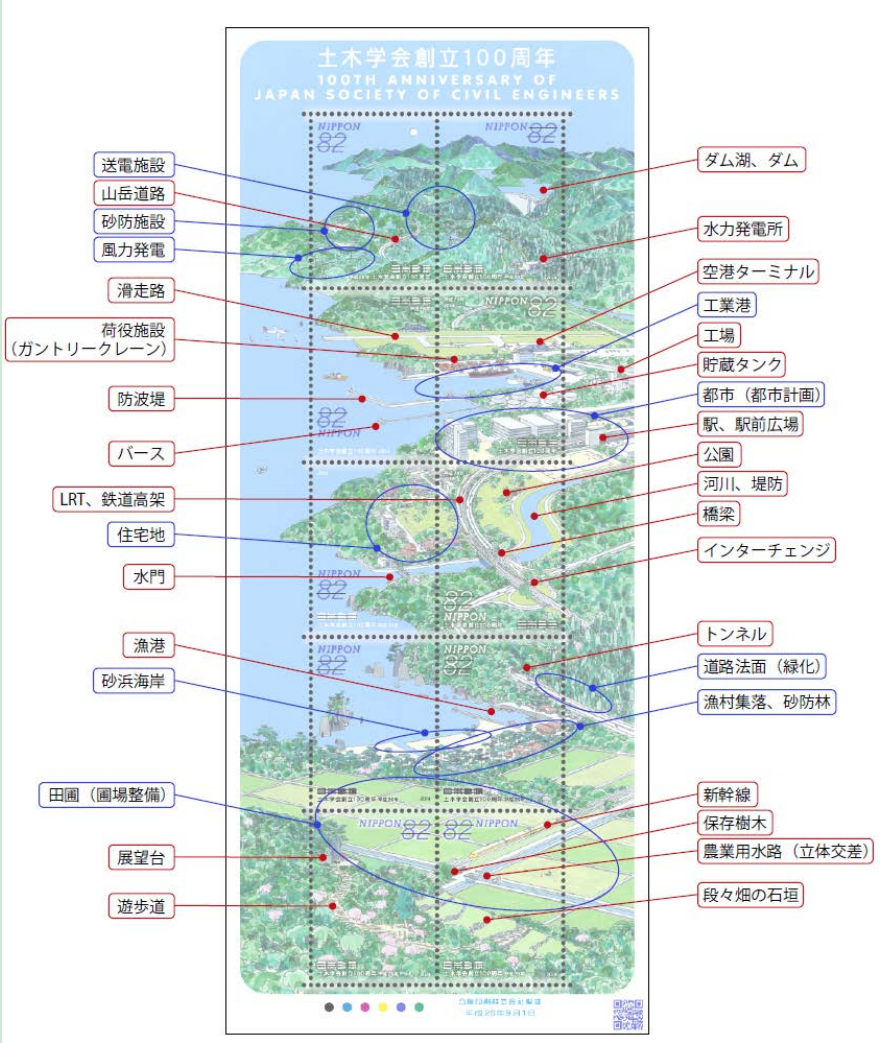
「土木」に従事する技術者や研究者等には、「土木」のみならず「機械」や「電気」等の幅広い技術分野の技術者や研究者等が含まれるが、本宣言の解説においては、これらを総称して「土木技術者」という言葉で代表する。

■土木という言葉について（土木パンフレットシリーズ）

「土木は、英語でCivil Engineeringといいます。このCivilとは「市民」「文明」という意味です。つまり、土木（Civil Engineering）とは、**「市民のための工学」あるいは「市民の文明的な暮らしのために、人間らしい環境を整えていく仕事」**を意味する言葉なのです。

土木の仕事が切手になりました。

JSCE 100th ANNIVERSARY



この風景画の中には30種類以上の土木施設が描かれています。
原画作者：松崎　義（大日本コンサルタント(株)景観デザイン室）、切手デザイナー：玉木　明（日本郵便(株)）、助言・監修：福井恒明（法政大学教授）

JSCE 公益社団法人 土木學會

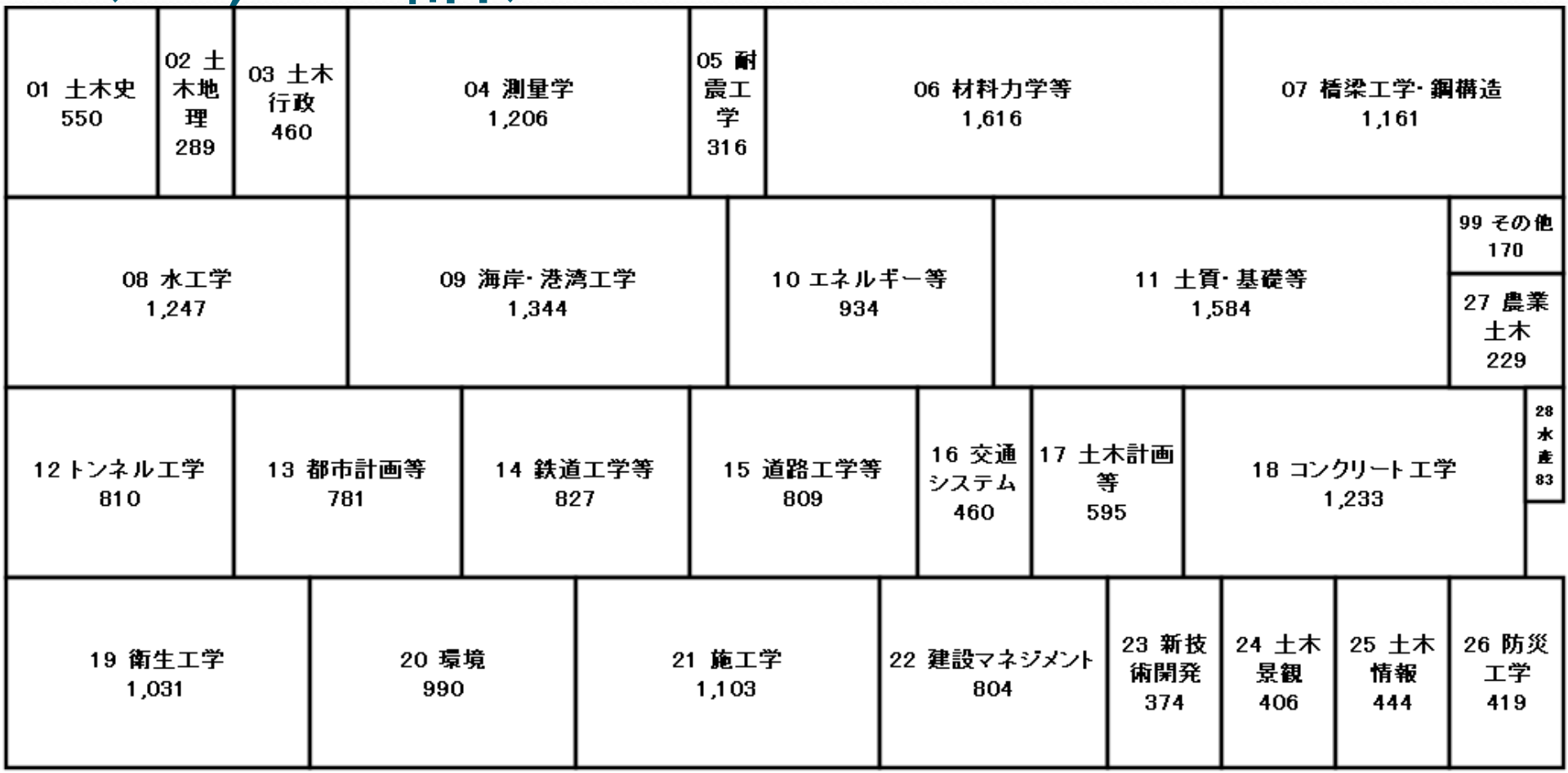
描き込む要素の注文

分野	具体的な施設		備考
	必須	オプション	
道路	高速道路，橋梁	トンネル坑口	地形を尊重，切盛土最小限
鉄道	新幹線，駅	地下鉄，LRT，トンネル，橋梁	
港湾	港，船	防波堤	
空港	滑走路，管制塔，飛行機	ターミナルビル	
電力	風力発電	送電線，火力発電所	風力発電はできれば山岳より洋上
上下水	ダム	取水施設，下水管路	
河川	堤防のある河川	水門，地下河川	河川整備されつつも地域との連携がとれている
砂防	山間の砂防ダム		
土地改良		整備された圃場	河川から引かれた用水と一体のイメージ
都市計画	秩序だった建物群，公園		町なかの整備，都市と郊外のメリハリをつける

土木工学
ハンドブック

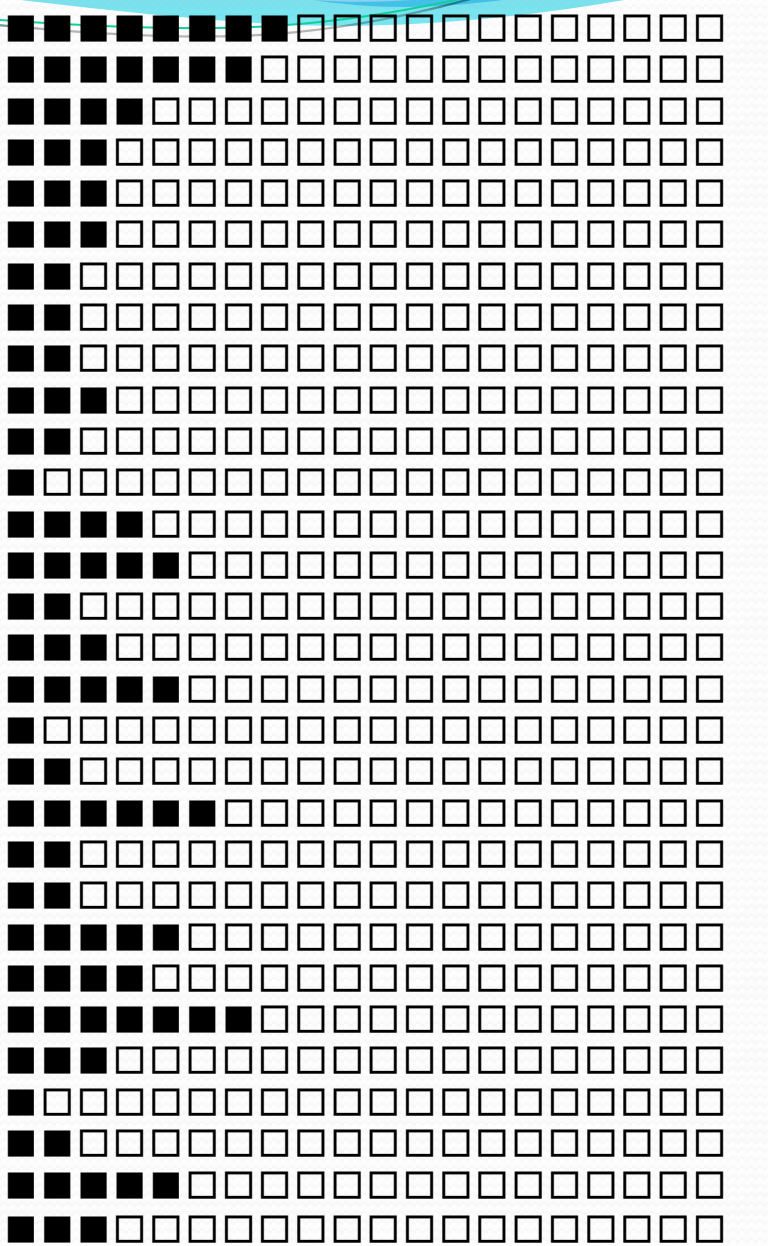
出典：玉木明・松﨑喬・福井恒明「土木学会創立100周年記念切手デザイン秘話」2014年9月1日

土木用語大辞典見出し語分野（22,275語）



出典：第31回情報利用技術シンポジウム「土木用語辞典をウィキペディアで実現するとしたら」2006年10月27日

土木用語大辞典編集委員会分類	Wikipedia	土木用語大辞典	Wiki/土木
01 土木史	226	550	41%
02 土木地理	94	289	33%
03 土木行政	95	460	21%
04 測量学	173	1,206	14%
05 耐震工学	40	316	13%
06 材料力学等	220	1,616	14%
07 橋梁工学・鋼構造	98	1,161	8%
08 水工学	112	1,247	9%
09 海岸・港湾工学	156	1,344	12%
10 エネルギー等	146	934	16%
11 土質・基礎等	185	1,584	12%
12 トンネル工学	42	810	5%
13 都市計画等	162	781	21%
14 鉄道工学等	193	827	23%
15 道路工学等	101	809	12%
16 交通システム	59	460	13%
17 土木計画等	138	595	23%
18 コンクリート工学	77	1,233	6%
19 衛生工学	104	1,031	10%
20 環境	282	990	28%
21 施工学	110	1,103	10%
22 建設マネジメント	90	804	11%
23 新技術開発	97	374	26%
24 土木景観	88	406	22%
25 土木情報	155	444	35%
26 防災工学	72	419	17%
27 農業土木	16	229	7%
28 水産	7	83	8%
99 その他	46	170	27%
合計	3,384	22,275	15%



出典：第31回情報利用技術シンポジウム「土木用語辞典をウィキペディアで実現するとしたら」2006年10月27日

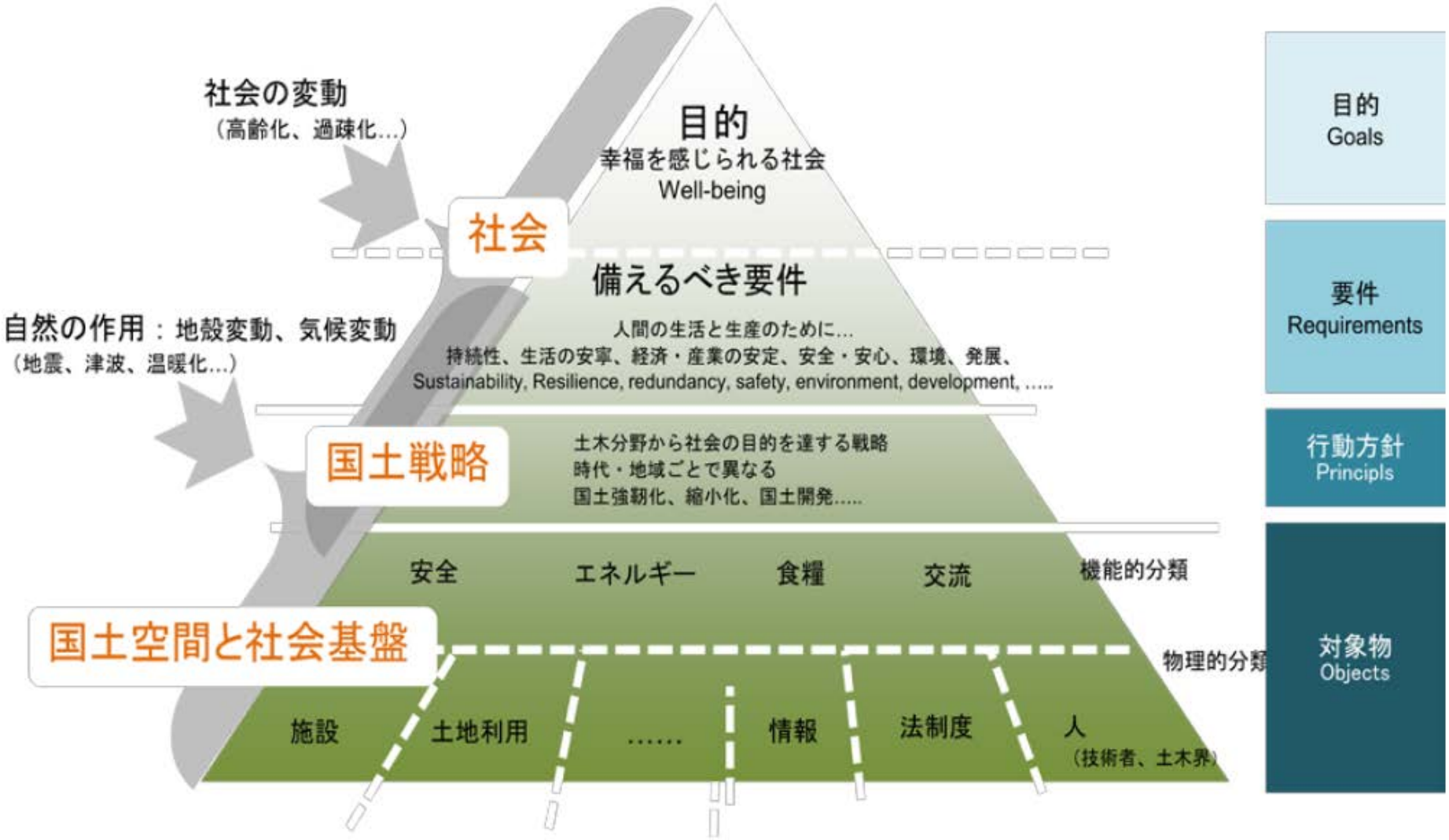


図1.2　土木のフレーム

出典：「JSCE2015－あらゆる境界をひらき、市民生活の質向上を目指す－」（案）